

地域住宅生産者グループ

復興住宅まもりすまいネットワーク ～もう一度住まいを見つめなおそう～

地域型復興住宅の名称	対象となる地域
木と土の家	福島県全域

グループの特徴とメッセージ

私たちは長年にわたり、このいわきの地域特性を生かしながら、いわきの地に根を張り、皆様とともに歩んできた地域工務店の任意団体です。

《3. 1 1 東日本大震災》私たちの暮らしがいかに危ういものなのか、実感した人も多いかと思えます。もう一度私たちの暮らしを見直してみませんか？便利さを追いかけた時代から、思い切って少し前に戻ってみるのも一つの選択肢かもしれません。ただそれは、決して後ろ向きのことではなく、火を熾し暖をとり、小さな菜園で野菜を作る。家の中には光と風が抜け、丁寧に暮らす家は、地に足のついた豊かさをもたらしてくれます。新しいことではなく、昔からその土地その場所にあった知恵と材料で。 その一歩が未来にとっての大事な一歩になるように、一緒に考えてみませんか。

グループの基本情報

グループ名称	復興住宅まもりすまいネットワーク
所在地	福島県いわき市平下平窪字諸荷前 25-3
結成年月	2012年2月
グループ形態	任意団体
主たる業態	施工
グループ構成 ※各事業者名は別紙	合計 30 社 原木供給 : 3 社 製材 : 3 社 建材流通 : 3 社 プレカット : 3 社 設計 : 3 社 施工 : 15 社
代表者名	草野 坦(アキラ建設代表)
主な受賞歴・活動内容等	

地域型復興住宅の主な工法・価格帯

主な構造・工法	木造軸組工法
価格帯	1500万円～
価格の基準面積	100㎡
価格に含まない項目	屋外工事費、外構工事費、設計料、諸手続費

*価格は、地域・プラン、仕様によって異なります。詳しくはお問い合わせください。

グループ全体の施工実績（年間）

建設戸数*（木造戸建）	100戸
うち地域材活用の住宅	100戸
うち長期優良住宅	10戸
グループとしての施工実績	なし 戸
グループとしての地域型住宅の受注可能戸数	70戸
自由記入欄（上記以外の実績等）	500万円以上の大～中規模リフォーム工事を6戸程度受注（年間）

※参画する施工業者の建設戸数の合計

連絡窓口

担当者名	小森 良一	メール	komo.eco@viola.ocn.ne.jp
電話番号	0246-22-4733	F A X	0246-22-4743
ホームページ			

木と土の家

地域型復興住宅のイメージと特徴

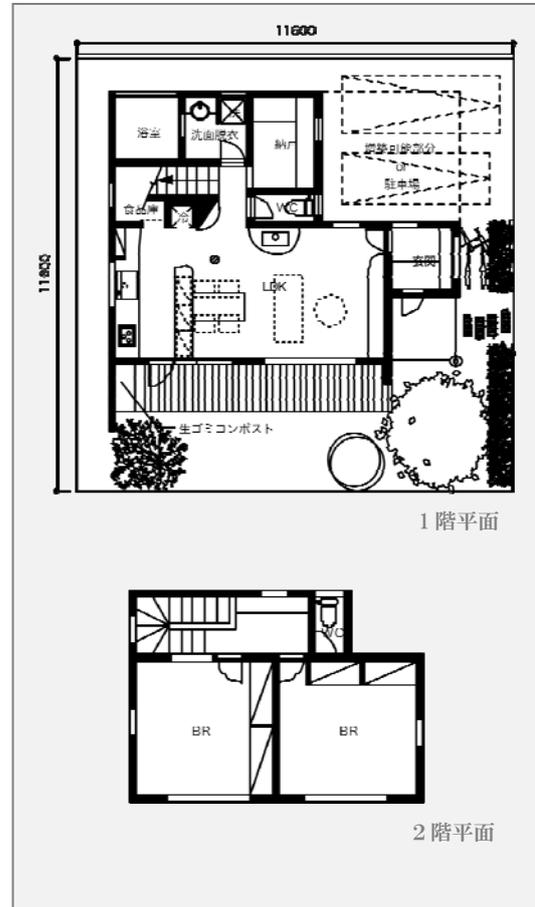
■いわきの自然住宅

私達は土地の気候風土に適した、永続的で居心地の良い住まい作りを目指しています。

そのためには家を建てる時に、まず土地の特性をよく観察することが大切です。どの方角から太陽がのぼり、風はどのように吹いているのか。周りの建物との関係性やその場所から見える景色、植生など、それらの特性を生かすことで室内に柔らかく差し込む光、穏やかに動く風、室内外の植物がもたらしてくれる様々な恩恵をうけることができます。

■一緒に考え、一緒に作る

家を作ることは、住まう人の生活を作ることであります。どのような暮らし方をしたいのか、それに合わせて私達は適度な判断、知識を提案しながらその人らしい家と一緒に考え、一緒に創ることを心がけています。



代表的事例の概要

構造	木造軸組工法	床面積	1階：49.7 m ² 2階：36.4 m ²
設計	小森建築設計事務所	施工	株式会社小森工務店
施工費	1,500万円（設計費用は除く）	備考	—

設計方法や地域材活用に関する特徴

■ パッシブな家

パッシブな家とは、自然エネルギーを効果的にとられる住宅のことをいいます。

太陽高度の高い夏には、軒を深くし太陽の熱を遮り、風の通り道(暖められた熱の出口)を作ることが大事です。西に面する部屋には、葡萄やゴーヤなど蔭性の植物を植えると適度な緑陰が西日を遮ってくれます。

太陽高度の低い冬には、太陽の光を室内に取り込み、熱を逃がさないようにしっかり断熱する。また薪ストーブや床暖房など熱源になる熱を蓄熱し輻射熱で暖める方法も効果的です。それらの技術をデザインとして取り入れ環境に負荷の少ない住宅を目指しています。

■ 地産地消

- ・ 福島で取れる杉、檜、ケヤキや栗など地元で取れる材料を使い地域全体の活性化をうながす。
- ・ 地元の材料を使うことで消費者に届くまでの運搬にかかるコストやエネルギーをなくす。
- ・ 消費者が地域をもっと身近に感じることができる。

主に活用している地域材について

地域材の名称	いわき、白河、棚倉材
樹種	杉、ヒノキ
産地	県南・いわき地
認証制度等	JAS 認定証 ブランド材認証第3号
主に取扱う材種	無垢材
主に取扱う部材	柱材、梁材、羽柄材、 内装材
自由記入欄	地域型復興住宅では福島県産材90%以上活用した住宅を供給します。



性能・仕様および施工方法等に関する特徴

■ 設備、仕様

- ・ 蓄熱式床冷暖房
床下に砂利、砂を敷き詰め中にパイプを通し比重の高いものに蓄熱させることで一定の気温を保つことができる。
- ・ 漆喰、土壁
夏は湿気を吸収し冬は湿度を保つ調湿作用と空気をきれいにする浄化作用がある。
- ・ その他
草屋根、雨水タンク、太陽熱温水器、だんろ、薪ストーブ、廃材利用、かまど、太陽光発電、土壌浄化など。
お気軽にご相談ください。



漆喰と土壁と木

地域住宅生産者グループ

復興住宅まもりすまいネットワーク

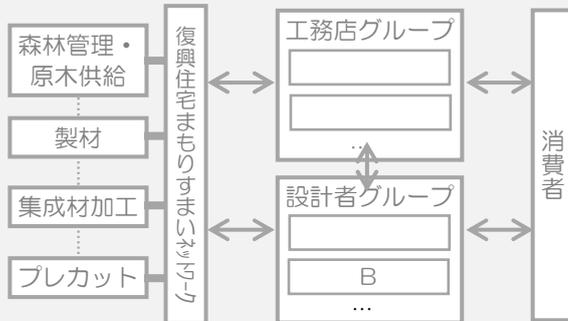
地域型復興住宅の生産供給や流通資材の調達に関する体制

■地域産材の活用

- 阿武隈山系の県産材の利用を図り、主に良質な杉材を地域の製材所で製材し、天然乾燥と人工乾燥で桁、梁、柱材、フローリングを含水率 20%以下に抑え、安定供給が出来るような体制にするために、業者と連携して四半期ベースで供給計画を立て、計画伐採、資材の確保に努める。地元産材や県産材の年間使用量が把握できるように、情報を共有化し、循環型社会に寄与する。



復興住宅まもりすまいネットワークの資材調達体制



施主からの相談体制および維持管理（アフターサービス）の体制・取組み

■相談体制

- 種々の情報により、お客様のニーズをよく聞き取り、規模、予算、デザイン、設計の打ち合わせをしプランを提案します。数回の打合せにより、本設計に入り、模型を造りイメージ確認し合います。

■維持管理

- 構造体力上主要な部分・雨水の侵入を防止する部分・給排水設備点検の時期・内容を定め少なくとも 30 年以上の管理を行い、10 年以内毎に点検を実施します。
- 長期優良住宅→いいものをしっかり造って、きちんと手入れをして長く使う。
- 住宅履歴情報管理システムの活用。

以上により優良住宅の資産形成と中古住宅の流通を促進します。